

第12回 今後の治水対策のあり方に関する有識者会議 議事要旨

平成22年9月27日（月）18:00～18:45

中央合同庁舎3号館 11階特別会議室

【出席者】

中川座長、宇野委員、三本木委員、鈴木委員、辻本委員、道上委員、森田委員、山田委員、馬淵大臣、三井副大臣、津川政務官、佐藤河川局長

【「中間とりまとめ（案）」に関する意見募集等への対応について】

○前回会議の議論を踏まえ、「中間とりまとめ（案）」に対する「意見募集」を行ったところ、約400の意見提出者から御意見を頂いた。あわせて、都道府県等にも「意見照会」を行った。

○ダム検証の基本的なフレームは、これまでの有識者会議で議論し、中間とりまとめ（案）で示したものと同一スタンスとした。

○多くの御意見を頂き、全ての御意見を本文に反映することは困難であり、主に次のような御意見を踏まえて本文を修正した。

- ・内容をよりわかりやすくする
- ・表現をより正確なものにする
- ・誤解を招かないような表現にする

○頂いた多くの御意見を表形式で整理した。整理にあたっては、次のようなことに留意した。

- ・御意見の趣旨を簡潔に、かつ、できる限り多くの御意見を包絡するよう整理する
- ・賛否両論があるもの、多様な方向の御意見があるようなものについては、様々な御意見があることがわかるよう整理する
- ・頂いた御意見に対する有識者会議としての考え方をできる限りていねいにお示しするよう努める

【「中間とりまとめ」について】

- 資料1の「中間とりまとめ（修正案）」の内容のとおり「中間とりまとめ」とした。
- 「中間とりまとめ」が中川座長から馬淵国土交通大臣に手渡された。

【その他】

- 検証に係る検討の手順や手法に関して、検討主体で検討が進められていく過程で出てくる様々な疑問に対して、対応していく体制を整えることが必要であり、当有識者会議としても対応していくこととする。